

タットン会 通信

2010.
11. 27

タットン会ホームページ **タットン会** と入力すると検索でき、会の趣旨や開催日時などが確認できます。また、「ボランティアセンター 046 (825) 0017」で、日程を確認することも出来ます。

※ **活動中などの写真掲載等をご遠慮なさる方は、事務局員にお申し出ください！（事務局は青バッチです）**

(10/27 の参加費は7, 800 円 寄付金は550 円 計8, 350 円でした。ありがとうございました)

10月1日発行の「広報 よこすか」でタットン会が紹介された関係で、10月23日94回目のタットン会には以前より増して、初参加や見学の方がおいでになりました。バドミントンコート5面には、6人が同時にに入るコートや順番待ちをしながらのコートもありました。

この日は、貸し出し用のバドミントンラケット約40本が足らないくらいでした。スペース的にもいっぱいイッパイ！ この先参加者の増加に伴い、運営方法や練習方法を考えていかねばなりません！！！



↑ (卓球の後方では、バドミントングループがひしめきあっています…！)

通信92号にも少し書かせていただきましたが…、2008年度から新しく参加なさるチャレンジャー（障がい児者）さんには保護者またはそれに代わる介助者が付き添ってくださるようにお願いをしています。

本来は、チャレンジャーさん30名の参加の場合…ボランティアさんも30名はいていただきたいのです。そして、マンツーマンの形で運営したいところなのですが～ボランティアさん不足のため、現実はチャレンジャーさん6名を一人のボランティアさんで対応していることもあります。

9年前のタットン会スタート時、チャレンジャーさんの保護者が自分の子以外のチャレンジャーさんを上手にリードしていました（今でも～）。

その場面を見て、我々ボランティアは関わり方を学ばせていただきました。ボランティアさんからも然りです。新しく参加されるチャレンジャーさん保護者には、そんな期待もしています。



私事で恐縮ですが、実は前回のタットン会の11日前に父親が亡くなりました。書類などの手続きは済んでいたのですが、心身共に疲れ切っていました。ところが、タットン会のメンバーに会うことによりそんな疲れが吹っ飛びました。つくづくタットン会の偉大な力を感じました。また、母親を見守る役の父親が居なくなってしまったので、新たにヘルパーさんをお願いしました。すると、以前タットン会でお世話になった保護者が来てくださいました。何とも有り難いご縁！ これからも、一期一会を大切にしていきたい、タットン会 万々歳です！！！



読売新聞取材のお知らせ

10月1日の「広報 よこすか」をお読み頂いた読売新聞の記者さんから「タットン会の誕生と私を取材したい」との電話依頼がありまし

た。本日は、活動写真を数枚とコメントを数人から頂きたいとのこと。終了後には私（かず）と副代表の鈴木孝芳さんで対応しようと思っております。ホームページには紹介させて頂きましたが、今日初めてお聞きする方もいらっしゃると思いますが…お許し願い、ご了解くださいませ。



お悔やみ

11月初めに秋山Tさんのお母様がお亡くなりになりました。10月のタットン会に参加されていたのに…。今後のTさんご家族様のご健康とお母様のご冥福をお祈りいたします。今までタットン会にご協力ください、誠にありがとうございました。これからも見守ってくださいね！

感想・参加者カード・気がついたこと！！！ チャレンジャーさん26名参加

- ※1 盲人の方用の卓球をやりました。あとは、色々なところに興味が移ったみたいで～トイレに行ったり、バドミントンをやったり…いろいろ。「これなに～」と、何回も聞いたので不安になっているのかな？と思いました。声かけを頑張りたいです。(N様)
- ※2 白と黒（シャトルの色）どちらがよいか試しながらノックをしました。今日は特に差はなかったようです。明るい方の窓を背にした方が見やすいようです。(I様)
- ※3 前半はバドミントンをしました。初めてなので、ラケットに当たる感覚をつかむため、ネットにシャトルをさして叩いて打つことをしました。当たると嬉しそうでした。後半は卓球をしました。転がし卓球が気に入ったようでした…。(IアンドW様)
- ※4 久しぶりにI君と試合（卓球）をしました。以前よりかなり強くなっていました。(N様)
- ※5 はじめバドミントンをしていましたが、途中から卓球に変更しました。どちらも楽しげで、笑顔も多かったです。あまり本格的な指導は好まず、自由にのびのび楽しみたいようです。(Y様)
- ※6 今日はバドミントンをしました(Dコート)。最初は下から打つサーブの練習、後半はシャトルを投げて打つ練習をしました。がんばり屋さんで、最後まで諦めず頑張ってくれました。(K様)
- ※7 参加者皆さん顔を見ました。良い顔をしてる言葉では言い表せない。また、ボランティアの人達も右に左に動いて、安全で楽しめる場つくり・・・頭が下がる思いです。(初の見学 S様)



本文と写真は関係ありません

タットン活動

パート 52

こんにちは！県立保健福祉大学卒業生の阿部南美です。

私は今年4月から精神障がい者の社会復帰施設に就職しました。だんだん慣れてきたものの、やはり緊張すること、戸惑うことがたくさんあり、「疲れたー！！」と思う毎日です。

お休みが平日なので、なかなか友達と予定が合わず、遊んだなあと実感するほど遊べるのは、月に数回ほど(買い物やバドミントンはしますよ！)です。

そんな中、約半年ぶりにタットン会に参加し、とても充実した時間を過ごすことができました(*^*)

先日は久々の参加でしたが、相変わらずの温かさで迎えてくれる、事務局メンバー、チャレンジャーさん、参加者の皆さん。私にとって、タットン会は1つの「居場所」だなあなんて思ってしまいました。まだ学生の皆さん、きっと社会人になったら、今以上にこのような「居場所」は大切です。今のうちにタットン会にたくさん参加して、自分を印象づけておくことも大切かもしれませんよ！(笑)

《 本日 11月27日の時程 》

- 9:30 開会式：ペア組（カード確認）・体操、各種目へ
10:20 休憩
10:35 後半の部
11:05 パラシュート・片づけ・モップ、感想カード記入
11:20 手話コーナー・けがの確認・感想…
11:40頃 解散



おしらせ 今後の予定です！

96回目 12/18 (県立保健福祉大学決定)

2011年

97回目 1/29 (県立保健福祉大学決定) 98回目 2/26 (県立保健福祉大学決定)

99回目 3/26 (タットン大会 県立保健福祉大学予定)

熱血指導



文責 佐藤一雄